

## 信用供与額【販売信用は増加、消費者金融は依然減少傾向】

297社の信用供与額は平成21年度40兆7,861億円、22年度42兆621億円となり、平成22年度は前年度に比べ3.1%増加しました。

この信用供与額の販売信用をクレジットカードショッピングと個品に大別すると、平成22年度のクレジットカードは10.2%増と堅調に推移し、一方、個品は7.0%減と昨年に引き続きマイナス傾向を示しました。

また、消費者金融ではクレジットカードキャッシングは37.4%減、その他の消費者ローンも28.4%減と大幅なマイナスとなっています。

信用供与額(集計社数297社)

(単位：億円、%)

		平成21年度	平成22年度	前年度比
販売信用	クレジットカードショッピング	316,116	348,288	10.2
	個品	45,934	42,708	▲7.0
	販売信用計	362,050	390,996	8.0
消費者金融	クレジットカードキャッシング	35,149	21,994	▲37.4
	その他の消費者ローン	10,662	7,631	▲28.4
	消費者金融計	45,811	29,625	▲35.3
信用供与額合計		407,861	420,621	3.1

- (注) 1. 上記の数値は平成23年度消費者信用実態調査に回答のあった297社の数値をとりまとめた集計値。  
 2. 2年度分のみ集計のため、過去に遡った複数年度比較はできない。  
 3. クレジットカードショッピングはクレジットカード会社のカードのほかに百貨店等の小売業等販売会社の自社カードも含まれる。  
 4. 個品は信販会社等の個品あつせん、小売業等販売会社の自社信用販売(個品方式)が含まれる。  
 5. 消費者金融は販売信用業務を行う与信業者の消費者金融。  
 6. その他の消費者ローンは融資専用カード等のクレジットカードキャッシング以外の消費者金融。